

岡崎芳彦のプロフィール

(2020年4月1日現在)

出身 山口県美祢市於福町
生年月日 昭和34年(1959年)5月9日(60歳)
学歴・職歴・スポーツ歴

住所 〒753-0816 山口市吉敷佐畑3-13-35
電話 090-3171-6517
メールアドレス okachan-09031716517@docomo.ne.jp
okazaki.yoshihiko@amber.plala.or.jp

- 1974年 山口県中学校ロードレース(個人、団体優勝)山口県中学校駅伝(1区区間新区賞)
- 1976年 美祢工業高校時代、全国高校駅伝出場(11位)
- 1978年 美祢市役所入所(教育委員会社会体育担当8年、公民館主事2年、農林課4年)
市民マラソン大会や駅伝大会などの企画も担当、美祢市陸協の事務局、県陸協の審判、自身もランナーとしてレースへ出場(フルマラソンベスト~2:37:34、100回~8:49:51)
母校のコーチとして1979年全国高校駅伝3位入賞の感動を体験
九州一周駅伝の山口県チーム監督として5回出場(この時期にカネボウや旭化成との交流が始まる)
- 1992年 株式会社ランナース(現アールピース)入社
事業部に籍置き、コンピューターによる記録計測業務や主催イベントのディレクター、事業営業等を担当
- 1997年 財団法人山口県教育財団(現山口県ひとづくり財団)へリターン(山口県秋吉台青少年自然の家勤務)
仕事内容は青少年を中心に野外活動の指導。特に主催事業の企画運営を担当
- 2007年 山ロランニングネットワーク代表として活動を開始

○何故14年勤めた美祢市役所を辞め、(株)ランナースへ入ったのか?

仕事は非常にやり甲斐があったが、私自身が選手、コーチ、審判員、市陸協マネージャー、大会企画者など色々な形で陸上競技に関わっていて、「自分は一生陸上から足を洗うことはないだろう!」と思うと、知識や経験のスキルを上げて「もう少し人に影響力を及ぼせる人間になりたい。」と思った。そこで、中央で刺激を受けてみたいと思い、以前より交流のあった会社(株式会社ランナース)にお世話になった。

○1997年のリターン以降、仕事以外のプライベートな時間を利用して、山口県内外の市民マラソンの手伝いやアドバイスをを行う。

Mine 秋吉台ジオパークマラソン~職場が美祢市ということもあり、実行委員として事務局会議から深く関わり当日の準備体操やテレビ解説も担当している。また、招待選手の交渉等も担当する。2014年以降は3時間のペースランナーも務める。

下関海響マラソン~当時の市長が「1万人のフルマラソンの開催」を宣言し、その直後当時の体育課長から私に「力になってくれ」という協力要請があったため、最初の企画会議から関わっている。また、スタート・ゴールの運営を取り仕切っているが、最初はゲストランナーの交渉から、前日のゲストランナートークショーのコーディネーターも担当していた。なお、平成27年以降はエントリー直後のオープニングセミナー(5月)や直前セミナー(9月)の企画運営を担当する。(これまでの講師は金哲彦、平塚潤、嶋原清子、豊永哲央、高尾憲司)

萩城下町マラソン~日本海側のレースとしては抜群の人気を誇る大会となった。この大会の開催を模索している時にアドバイザーとして何度か企画会議に参加し助言。その後は記録計測スタッフとしても関わった。2015年はゲストランナーの交渉を担当。

その他の大会~以前勤めていた(株)ランナース(現アールピース)が関わっている西日本の大会をスタッフとしてサポート。四万十川100キロマラソン(高知)、隠岐の島100キロマラソン(島根)、さかやまマラソン(佐賀)、福知山マラソン(京都)等

○山ロランニングネットワークの活動(2007年~)

●岡崎のネットワークを利用し元オリンピックランナーなどを山口に招き講演会やジョギング教室を開催。(これまでに協力いただいた講師~増田明美、宗茂、嶋原清子、浅井えり子、市川良子、高尾憲司、小嶋由水、岡本幸子、谷谷繁、早田俊幸、川嶋伸次、平塚潤、金哲彦、坂本雄次)

●2010年度、このマラソンブームで初心者ジョギガーが増えたため、「無理せず、楽しく、正しく」マラソンにチャレンジできるように、「マラソン完走応援プロジェクト」をスタート。現在は毎週日曜日が宇部(山口宇部空港横芝生広場)、水曜日が下関(下関市陸上競技場付近)、木曜日が山口市(維新百年記念公園)で夜7時から練習会を実施。目標とする下関海響マラソンでは、これまでに250名を超える完走者の指導に関わる。

●2013年、「出前ジョギング教室」を開催。ランニングに興味はあるが、わざわざイベント会場に足を運ぶ勇気がないという人達のために、こちらから出向いて指導しようというもの。概ね好評であった。

●2016年1月、いぶすき菜の花マラソン(鹿児島県)へバスツアーを組み、33名で出場。

●2016年9月、久住高原(大分県)にて市民ランナーのためのクロコラン合宿を主催 講師:浅井えり子、川嶋伸次

●2017年9月、周南24時間リレーマラソンを主催(83チーム出場)※以降3年間継続開催

●2019年5月、第1回赤間関街道中道筋マラニック大会を主催する。

○上記以外の活動について

●2008年以降、毎年菊川スポーツクラブより依頼を受け、高尾憲司(元旭化成)を講師に「菊川ジョギングセミナー」をコーディネートする。

●2011年度の山口県体育指導委員会連絡協議会研修会で「スポーツを支える」をテーマに講演。(6月)

●2011年の山口国体では「競技専門委員」を務める。メンバーは県高体連、中体連、小体連各理事長、スポーツ審議会委員、大学の教授、競技団体の代表などで構成されるが、何故か肩書きのない私が県民代表という立場で選出されている。

●浜村杯秋穂ロードレースが記念大会の時にゲストランナー交渉の依頼を受ける。2011年(嶋原清子)、2016年(浅井えり子、早田俊幸)

●2012年の萩城下町マラソンで山口朝日放送のアナウンサーと朝日新聞社の記者(どちらも20歳代の初心者女性)がハーフマラソンを完走するという企画が出た時、県陸上競技協会へ指導者の依頼があり、理事長からの指示で岡崎が担当することになった。

期間もなく、練習回数もあまり取れなかったが、「頑張るのではなく、楽しく走る!」という意味を理解してもらい無事完走。

●県スポーツ振興課より依頼を受け、2013年、2014年10月のやまぐち総合スポーツ大会サブイベントにおいて、ジョギング教室の講師選定、交渉、当日の運営を担当した。(講師は浅井えり子、平塚潤)

●2013年から3年間、山口県人づくり財団から依頼を受け生涯スポーツ指導者養成講座(ジョギング)を年間4回企画運営。

●2014年から下関海響マラソン完走プロジェクト「菊川+豊田21k合同練習会」のアドバイザーを担当する

●2014年10月、山口きらめき財団理事長(県知事)表彰を受ける。

●2016年、TYS テレビ山口の番組「やるっちゃ」の出演者のジョギング指導、番組にも生出演。

●2016年12月、大島一周駅伝70周年記念大会に向けて依頼を受け、ドリームチーム出場のお世話をする。(市川良子、中国電力陸上部OB他)

●2017年10月、周南スポーツフェスタのジョギング教室のコーディネーターを担当。(講師:小嶋由水)

●2017年11月、日本マスターズ陸上競技連合主催のジョギング教室の運営、講師交渉(嶋原清子)を受ける。

●2018年1月、日本陸上競技連盟公認ジュニアコーチ養成講習会「中長距離」の指導を担当(全国から約60名の参加)

●2018年3月、日本マラソン界の第一人者宗茂氏(現旭化成陸上部顧問)が来県に伴い、山ロランニングネットワーク会員との交流会を開催。

●2019年11月、親交のある「仏の里くにさきとみくじマラソン」実行委員長の依頼を受け、ゲストランナーに二代目山の神柏原竜二氏を招聘

●まったく別の活動としては、平成24年より県内のオカリナ愛好者のグループを集めて、職場である秋吉台青少年自然の家で毎年10月に「オカリナフェスティバル」を開催している。もちろん岡崎もソロで数曲演奏する。